

セッション名	演題番号	氏名	所属機関名	演題名
一般演題1	O1-2	藤田 雅也	医療法人社団城東桐和会篠崎駅前こころクリニック	統合失調症薬アドヒアランスについてBrexiprazole(BRX)とAripiprazole long acting injectio(ALAI)による患者主観調査
一般演題2	O2-4	杉田 円香	熊本大学大学院生命科学部薬物治療学分野	小児てんかん患者におけるバルプロ酸誘発性BMI変動予測モデルの構築
一般演題3	O3-3	久保田 学	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所・脳機能イメージング研究部	前頭側頭葉変性症における脳内タウ蓄積および代謝型グルタミン酸受容体5型の変化に関するPET研究
一般演題4	O4-1	種村 菜奈枝	慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座	小児患者における向精神薬の適応外使用に関する実態調査 -薬局調剤レセプトデータベースを用いた後ろ向きコホート研究-
一般演題6	O6-3	下島 里音	新潟大学医歯学総合病院総合臨床研修センター	統合失調症患者における退院時DAI-30 (Drug Attitude Inventory-30) 値と退院後1年以内再入院との関係
一般演題7	O7-3	三澤 史斉	山梨県立北病院	クロザピンと他の第2世代抗精神病薬との有効性と安全性の比較:コホート研究のシステムティックレビュー及びメタ解析
一般演題8	O8-1	住吉 太幹	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 児童・予防精神医学研究部	大うつ病性障害患者における認知機能と抑うつ症状及び心理社会的機能の関連:PERFORM-Jのベースラインデータを用いた横断研究
一般演題9	O9-2	上野 文彦	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター	ヒトの精神運動機能へのアルコール・アセトアルデヒドの影響:健康者におけるクランプ試験からの知見
一般演題10	O10-3	栗田 征武	名取駅西口クリニック	ノルアドレナリンは双極性障害において躁状態とうつ状態の治療に重要な役割を果たす
一般演題11	O11-3	古家 宏樹	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神薬理研究部	新生仔期ラットへのNR2A選択的拮抗薬慢性投与は成体期に統合失調症様行動異常を引き起こす
一般演題12	O12-2	大井 一高	金沢医科大学 精神神経科学	染色体15q25領域における喫煙量と統合失調症双方に関わる遺伝子多型は脳でのCHRNA5遺伝子発現を制御する
一般演題14	O14-3	中本 賀寿夫	神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室	幼少期ストレス負荷マウスの脳内各種オピオイド受容体の発現変化
ポスター演題1	P1-3	越智 紳一郎	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学	施設入所中の認知症患者における周辺症状に対するtandospironeの有効性の検討~第2報~
ポスター演題2	P2-5	齋藤 雄太	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	統合失調症の残存症状による再発予測:PROACTIVE研究の再解析
ポスター演題3	P3-4	窪田 幸久	中央公園クリニック	外来統合失調症の持続性注射剤の長期使用における有用性と安全性の検討—QOL向上とリハビリを目指した治療のために—
ポスター演題4	P4-1	阿竹 聖和	産業医科大学医学部精神医学教室	慢性統合失調症の認知機能に影響を及ぼす因子について
ポスター演題5	P5-3	小野里 磨優	東邦大学薬学部薬品分析学教室	精神病発症危険状態(ARMS)における血清中グルコース代謝物濃度の比較解析
ポスター演題6	P6-5	稲田 健	東京女子医科大学医学部精神医学講座	CPMS(Clozapine Patient Monitoring Service)データに基づく日本のクロザピン使用実態
ポスター演題7	P7-4	尾久 守侑	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	臨床症状によるアセナピンの治療反応予測
ポスター演題8	P8-1	萩 勝彦	大日本住友製薬メディカルフェアーズ部	統合失調症患者の認知機能に対する抗精神病薬の効果:系統的レビューとメタ解析
ポスター演題9	P9-5	服部 早紀	横浜市立大学精神医学教室	アリピプラゾールによる自律神経活動低下とABC1遺伝子多型の関連
ポスター演題10	P10-2	鳥山 和宏	ノバルティスファーマ株式会社メディカル本部	治療抵抗性統合失調症患者を対象としたクロザピンの製造販売後調査結果 其の2 重点調査事項の詳細
ポスター演題11	P11-4	別府 拓紀	産業医科大学医学部精神医学教室	認知症患者における長期投与ベンゾジアゼピン系睡眠薬減量の試み
ポスター演題12	P12-5	越川 陽介	関西医科大学精神神経科学教室	うつ病患者の長期的治療経過を探る—RCTベースの2年間の調査—
ポスター演題13	P13-2	香月 あすか	産業医科大学医学部精神医学教室	うつ病患者の抗うつ薬治療による症状寛解と海馬亜区域体積の変化の関連
ポスター演題14	P14-4	今村 弥生	杏林大学医学部精神神経科学教室	難治性うつ状態における患者家族の感情表出と薬物療法との関連性の検討
ポスター演題15	P15-3	坪井 貴嗣	杏林大学医学部精神神経科学教室	何が双極性障害患者における非寛解状態と関連した因子なのか?
ポスター演題16	P16-1	永井 五洋	琉球大学大学院精神神経学講座	治療2週目のlamotrigine血漿濃度高値がlamotrigineによる皮疹発現と関連する
ポスター演題17	P17-3	佐藤 敦志	東京大学医学部附属病院小児科	mTOR阻害剤を使用中の結節性硬化症患者における自閉症状の変化
ポスター演題18	P18-4	猪飼 紗恵子	慶應義塾大学精神・神経科学教室	統合失調症患者におけるヨガ療法反応者の特徴:3無作為化比較試験の再解析
ポスター演題19	P19-5	古田島 浩子	東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野依存性薬物プロジェクト	覚せい剤依存症患者におけるイフェンプロジルの効果検討とfMRIを基としたバイオマーカーの開発:二重盲検無作為化比較試験(研究プロトコル)
ポスター演題20	P20-5	山岸 愛実	星薬科大学薬物治療学研究室	Streptozotocin 誘発糖尿病マウスの恐怖記憶の変化に対する脳内 L-lactate および AMP 活性化プロテインキナーゼの関与
ポスター演題21	P21-1	山口 拓	長崎国際大学薬学部薬物治療学研究室	幼若期薬理的ストレス負荷によって惹起される成長後の抑うつ様行動と縫線核内GABA神経系の機能異常
ポスター演題22	P22-1	大木 雄太	大塚製薬株式会社中枢神経疾患研究所	プレクスピプラゾール(レキサルティ)の認知機能障害モデルにおける効果の検討
ポスター演題23	P23-2	出山 諭司	金沢大学医薬保健研究域薬学系薬理学研究室	即効性抗うつ作用発現におけるBDNF-VEGFシグナル相互作用の役割
ポスター演題24	P24-3	伊藤 貴博	名城大学薬学部・大学院薬学研究科病態解析学I	情動・認知機能におけるグリア誘導性ニューロン移動関連分子のアストロタクセン2の役割
ポスター演題25	P25-3	船田 正彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所	合成カンナビノイドAM2201による痙攣発現の解析:グルタミン酸神経系の役割
ポスター演題26	P26-6	須田 雪明	星薬科大学薬理学研究室	黒質ドパミン神経細胞におけるCOMT の発現増加がパーキンソン病症状に関わる運動機能障害に及ぼす影響
ポスター演題27	P27-1	松井 崇晃	名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・医学部附属病院薬剤部	リン酸化プロテオミクス解析による新規Reelinシグナルの同定